

新風

発行 神石高原町議会議員

木野山孝志 後援会

平成28年10月10日 NO.41

発行責任者：橋迫芳隆

神石高原町父木野2953-1

ホームページ <http://www.7a.biglobe.ne.jp/~t-kinoyama/>

9月定例会

平成27年度決算

町立病院電子カルテ導入事業など

総額で148億5千万円の歳出決算

9月定例会は、7日から20日まで開かれました。平成27年度の決算数値は、表のとおりです。

歳出総額は、148億5766万円です。昨年度の決算と比べて、2億752万円（1.4%）の増となりました。

これは、国保事業勘定会計、簡易水道会計、病院事業会計の増が要因です。一般会計は1.2%の減となりましたが、補助費がかなり増加しています。

実質公債費比率など財政指数はかなり改善されています。地方債（借金）の現在高は130億5759万円（合併時は220億50万円）となりました。辺地

次年度執行の7001万円（繰越明許費）を除き

平成27年度決算統計資料

単位：万円

区 分	H20年度	H27年度
標準財政規模	69億4615	69億2915
財政力指数	0.240	0.217
経常収支比率	92.1%	75.3%
実質公債費比率	21.9%	8.2%
地方債現在高	157億6361	130億5759
基金残高	32億2380	107億3962

平成27年度収支決算総括表

単位：万円（四捨五入）

会 計 名	歳 入	歳 出	明許繰越	差 引
一 般 会 計	109億3022	102億8468	7,001	5億7,553
特 別 会 計				
国民健康保険	13億7,077	12億7,426		9,651
後期高齢者医療	3億6,391	3億6,128		263
介護保険	19億1,642	18億9,745		1,897
簡易水道事業	2億5,997	2億4,859		1,138
飲料水供給施設事業	4,344	3,873		471
農業集落排水事業	2億6,399	2億4,702		1,697
総合開発事業	3,122	3,120		2
分収育林事業	4	4		
病院事業会計	4億7,452	4億7,442		10
合 計	156億5450	148億5766	7,001	7億2683
			総繰越額	7億9684

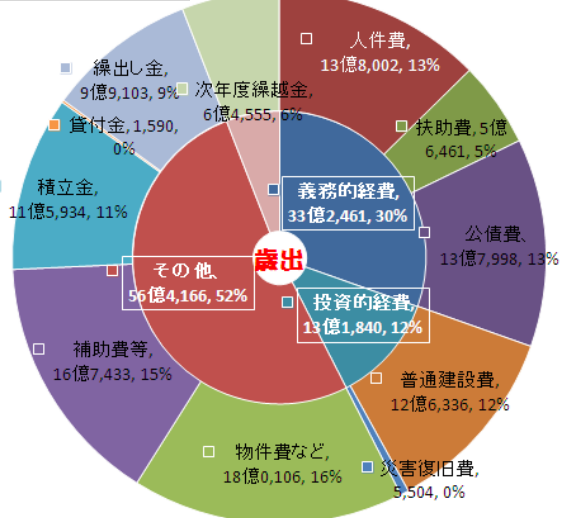
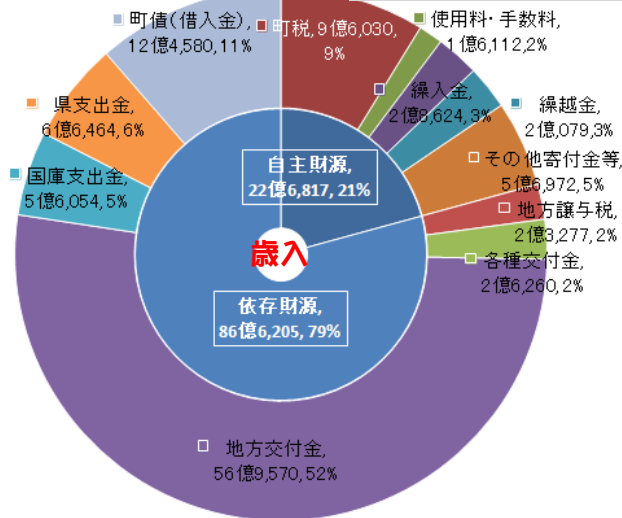
7億2683万円が、平成27年度へ繰越されました。一般会計繰越額5億8千万円のうち半額を超える額が財政調整基金に積立予定ですが、

減（▲0.7%）となりました。自主財源額は前年と変わらず相対的に増率となりました。ふるさと応援など寄付金3億8998万円の（387.9%増）の増が要因

一般会計は、次ページの表のとおりですが、前年度対比では、7338万円の

依存財源では、全体の52.1%を占める地方交付金は1.9%減、統合中学校建設にかかる国庫支出金、減債基金にかかる繰入金の減等が要因で7338万円（▲0.8%）の減となっています。

平成27年度一般会計歳入歳出比較表



平成28年度予算会計別総括表

単位:万円(四捨五入)

会 計 名		H28年度	
		9月補正	9月補正後予算
一 般 会 計		12億6583	1,15億4,212
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	326	12億8,238
	後 期 高 齢 者 医 療	192	3億8,852
	介 護 保 険	108	19億4,795
	簡 易 水 道 事 業	630	3億9,639
	飲 料 水 供 給 事 業	265	3,880
	農 業 集 落 排 水 事 業	232	2億4,902
	分 取 育 林 事 業		10
	総 合 開 発 事 業	86	676
	特別会計計	1839	43億0,992
病 院 事 業 会 計			3億9,502
合 計		12億8422	162億4706
特別会計+病院事業会計		1839	47億0,494

9月補正

7 1 7 財 総
万 万 万 源 の 額
円 円 円 主 な も の は、
な ど で す。 財 政 調 整 基 金 繰 入 9 億 8 3 4 万 円、農 業 基 盤 整 備 分 担 金 9 億 1 0 8 万 円、普 通 交 付 税 7 億 8 4 2 2 万 円。

条例制定など

- 町名誉町民条例の制定
- ＊功績をたたえ顕彰
- 町企業立地基金条例の制定
- 町産業振興事業基金条例の制定
- ＊肉用牛特別導入基金条例は振興基金条例に移行
- 町空家等の適正管理に関する条例の制定
- ＊必要事項を定め生活環境の保全・安全・安心なまちづくりに寄与する

平成28年9月補正(一般会計)

(単位:万円)四捨五入

費目	補正予算	補正後予算	主な内容
議会費		8,546	
総務費	1,093	18億1,448	かがやきネット管理運営(支障木)444、税務総務経費(地籍航空写真)532
民生費	2,525	18億2,586	就労継続支援事業所活動支援事業(油木作業所)54、生活保護98、扶助費(高額医療費補助)2,128
衛生費	-▲7	12億4,079	予防接種▲56、農集排特別会計繰出49
農林水産費	1億0,015	11億6,585	新規就農者支援(トマト施設)262、地域営農体制支援(機械導入補助)186、園芸施設整備補助848、まるごと市場借入金精算80、産地ハローアップ(トマト選果場整備JA福山市負担分減額)▲1,500、ひろしま農業創生(簡易基盤整備)3,133、畜産振興(油木・神石堆肥ストックヤード)3,816、地籍調査138、林業センター整備700、森林整備支援(境界線神石)1,318、小規模崩壊事業1,015
商工費	1,626	1億6,046	自然公園等管理運営経費(スコラ帝釈の湯・スコラ送迎バス)1,307、ぎのこの森改修工事(観光協会)189
土木費	4672	7億6,184	町道維持補修4,400、空き家対策200
消防費	143	4億6,208	山崩れ発生予知システム96、方面隊25、消防屯所23
教育費	1,607	7億8,315	スクールバス入札精算・ドライブルータ▲32、小・中・高教育支援116、油木コミセン194、旧油木中体育館設備改修1,300
災害復旧費	4,845	4,848	現年農地・農業施設災害復旧1,833 現年道路橋りょう災害復旧3,013
公債費		15億6,547	
諸支出金	10億0,063	15億8,819	保健医療福祉支援事業基金積立3億、小中高教育支援事業基金積立2億、産業振興事業基金積立2億、企業立地基金積立3億
予備費		4,000	
合 計	12億6,582	1,15億4,211	

<財産の取得>

- 消防・普通四輪
小型動力ポンプ積載車
「W キャビン
四輪駆動車」
- ＊神石方面隊(古川)

<辺地計画の策定>

- ※辺地債(借金額の80%が交付税措置される)を借りて事業をする為に計画が策定されました。
- 時安地区(5年間)
事業費 2億3530万円
内辺地事業 8170万円
- 上野地区(1年間)
事業費 922万円
内辺地事業 920万円

決算質問

合併後に新たに取組まれた事業は沢山ありますがその内で特に事業規模も大きく財政負担も大きかった以下の3事業に付き、現在までの決算状況と今後の見通しについて質しました。

①CATV(情報通信基盤整備)事業

町民の期待も大きく、実現した事業。すでに町のあらゆる仕組みの中に取り入れられており破綻は許されません。基金勘定で収支が分かるように成っています。

②井関団地総合開発事業

立上げには苦勞しましたが販売は好調でそろそろ事業精算とのこと。収支の状況と今後の計画は。

③病院事業会計

町立病院としてスタートした時点では財政的にも安定運営の様相でしたが、現在は諸般の事情で厳しい状況となって来ました。どうなっているのか。死守する方策は。

木野山決算と今後の見通しについて以下伺う

①CATV事業、②井関団地、③病院会計

町長 ①は任期中で一番成功した事業だ。今後も満足度が上がるように努力したい。

②は長期総合計画に無かった事業でしたが状況判断で実施した。好評で地形的で無理な所を除き殆ど売却できた。若い人が多く入居され人口増に繋がっ

た。予想外のよい結果が出たと思う。

③は人口減少の影響もあり入院患者が特に減少しており引き続き苦しい経営状況にある。不本意だが年間2億円の補填が恒久的となった。

病院医療関係の存続のためには、段階的ではなく人口減少を見越した思い切った大胆な発想で改革しないと建物が付随する

ので無駄な投資となる可能性がある。

小坂まちづくり推進課長

①かがやきネット管理運営基金は平成22年度から積立てている。以降加入分担保金などで積立て、運営経費は基金から経費に繰入している。基金残高は平成27年度末で3億1472万円。今後29年にネットワーク系の更新、32年にサーバー等大規模改修を予定している。

健全運営のため基金造成に努める。

②は現在の基金残高は6628万円。殆ど売却できたので販売を終了し12月中には整理したい。第2団地については、今年度の予算で場所の検討を含めて委託調査を行っている。

平成27年度一般会計(歳入の部)での寄付金収入は3億8998万円で前年対比387.9%の増となりました。内、3億8076万円が町内のNPO法人に対する「ふるさと応援寄付金」です。この内95%が当該NPO法人の事業運営・活動の支援として補助交付されます。

「がんばる神石高原町ふるさと応援条例」にはその第3条で寄付者は寄付金の使途を指定する事ができ、第4条で町長は運用にあたっては寄付者の意向が反映されるよう配慮するよう定められています。また、交付要綱第9条に「交付を受けた者は実績報告書を町長に提出しなければならない。」と規定されています。

報告書の提出はどうなっているか、寄付者の指定どおりで、目的外の使用はないか。監査はどうしているか。

また、条例の制定時には想定されていなかった「協働支援センター」への対応について、第2条には、1～5までは町への寄付、6は自治振興会、7はNPO法人となっており「協働支援センター」に関する規定がありません。条例の改正が必要ではないか、質しました。

木野山ふるさと納税に於いて報告書の提出は。目的外使用はないか。協働支援センターへの寄付には、ふるさと応援条例の改正が必要では。

使途について寄付者から問合せがあるので、どういったものに使い、どれからどのように計画しているのか書類は頂いている。確認はしている。

現在、各地区の協働支援センターは寄付の対象になっていない。其々の協働支援センターと協議の上、必要と有れば載せる方向で検討したい。

小坂まちづくり推進課長

報告書は簡易だが頂いている。

各団体の活動への寄付なので各々の活動に対する寄付と理解し、目的に沿っているかと判断している。監査は行っていない。

NPO法人のPWJですが犬の活動については多額の寄付を頂いている。



平成28. 10. 2
どんぐり幼稚園運動会

一般質問

牧野町長は神石高原町誕生と同時に町長に就任せられ、以来3期12年間に町民のため鋭意努力を重ねられ、多くの実りある成果を挙げられ、本町の発展に大いに寄与されています。

この度、勇退を決意され首長としての最後の本会議に臨まれました。

在任中の12年間のうち、最も財政的にも厳しかった平成20年から24年頃を振り返りながら、町長の総括的な思いを語って頂きました。

また、目的基金の積立と言う形で、町長の思いを時期に託されました。その点についても考えをお聞きました。

私の質問の詳細は、ホームページにアップしていますのでご覧ください。(木野山孝志で検索して頂ければ見れると思います。)

【一般質問】

木野山町長就任以来、本町の舵取りは多難を極めたと思いますが多額の成果を挙げられました。以下伺う。

- ①首長としての3期12年間で一番誇れる事。
 - ②本町の持つ一番の課題。
 - ③次期町長に、また議会に託したい事。
- 最後に、目的基金の積立という形で次期に託される町長の思い。

町長 合併後の本町は經常収支比率が91・8%と殆ど財政破綻の状況だった。助役以下若い職員の援助もあり、死にもの狂いでやり抜くぞという決意でやった結果が、今日に繋がっている。

常日頃心がけた事は、「謙虚に低姿勢のスタンスで町の一体化を図る。」「持続可能な町の実現をやり遂げる。」「行政改革」の三つで、財政健全化につ

いては一定のメドが付いたと思う。

基盤は出来ても砂上の楼閣と成ってはいけない。財政力を上げるような次の世代に期待したい。

一内閣一仕事と言われるが思えば12年間で一仕事出来たのかなと思っている。

①一番誇れる事は、強いと言えば、行財政の基盤が出来た事と思う。

②本町の一番の課題は財政力が20%弱と脆弱である事。これは体質という

か致命傷かと思う。この体質改善が今後の課題である。

③次期町長に託したい事は、人口倍増、地方創成の進展をお願いしたい。

議会に対しては首長は独りで町の一体化はなかなかキャッチできないが

議会は旧町村から其々選出されておられるので一体化に向けての取組をお願いしたい。

基金については総額で10億円。

企業誘致目的基金。工業団地なら小規模であれば県からの助成金もあるの

で産業団地造成、企業立地に3億円積立てる。

高等学校の更なる進化に2億円の積立。

病院の将来に基金が必要だ。現在、医療介護等に16億円積んでいます

がそれに1億円を加算する。畜産振興で2億円を別に積立る。

子育て支援の充実強化に向けて2億円積立。

5項目で平均2億円。重点的なものに10億円を目的基金として積立る。

基金はすでに有るがそれに目的を定めた。新

町長には強く要望したい。

私の置き土産になれ

ばとも思っている。

まちづくりの目標

- 「高原」をコンセプトにまちづくりを
.....まちの活性化に夢が広がります。
- お年寄りから子供まで優しいまちづくりを
.....優しさがまちをつくれます。
- 地域の伝統と文化を大切にしたいまちづくりを
.....ひとが地域をつくれます。
- 先進地といわれる町づくりを
.....知恵と行動力が人をひきつけます。



夢の実現のため
初心に帰り頑張ります